

TC エンドポイントでのカメラ プリセットの設定

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[手持ち型遠隔制御装置とのオプション 1.セット プリセット](#)

[タッチ パネルとのオプション 2.セット プリセット](#)

[タッチ 8](#)

[タッチ 10](#)

[CLI コマンドを用いるオプション 3.セット プリセット](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、TANDBERG Codec (TC) エンドポイントでカメラ プリセットを設定する方法について説明します。

カメラ プリセットとは、カメラのパン、チルト、ズーム、フォーカス (PTZF) の希望する位置を事前に保存した値です。カメラを移動し、特定のポイントに焦点を合わせ、コールの間に再呼び出しされた遅れであるためにプリセットするとしてそれを保存してもらうことができます。これは、参加者が座るさまざまな席にカメラを向ける場合や、クラスのホワイトボードにカメラを向ける場合に使用できます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- タッチ パネルとリモート コントロールの使用法
- TC ソフトウェアのアプリケーション プログラム インターフェイス (API) /コマンド ライン インターフェイス (CLI)

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

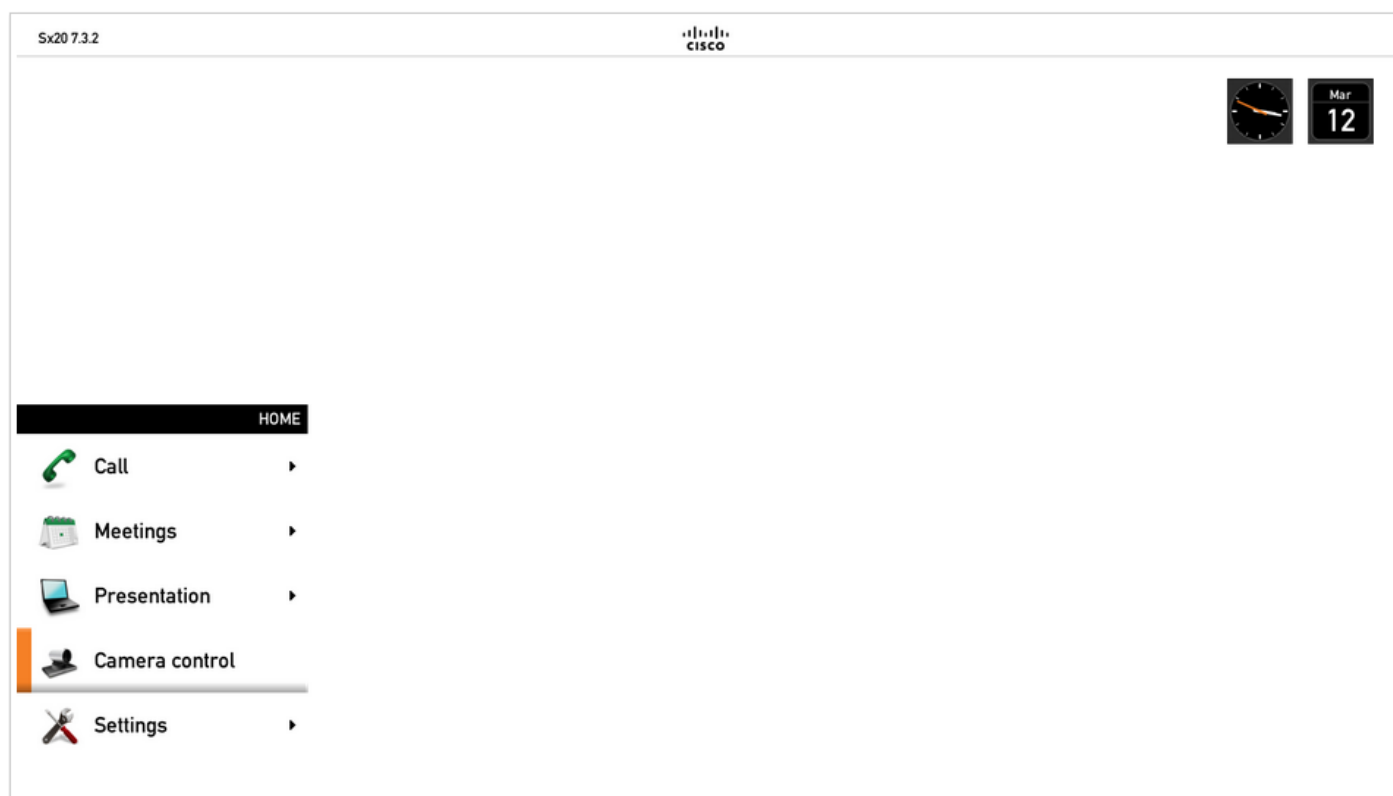
本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。ネットワークが稼働中の場合は、すべてのコマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

設定

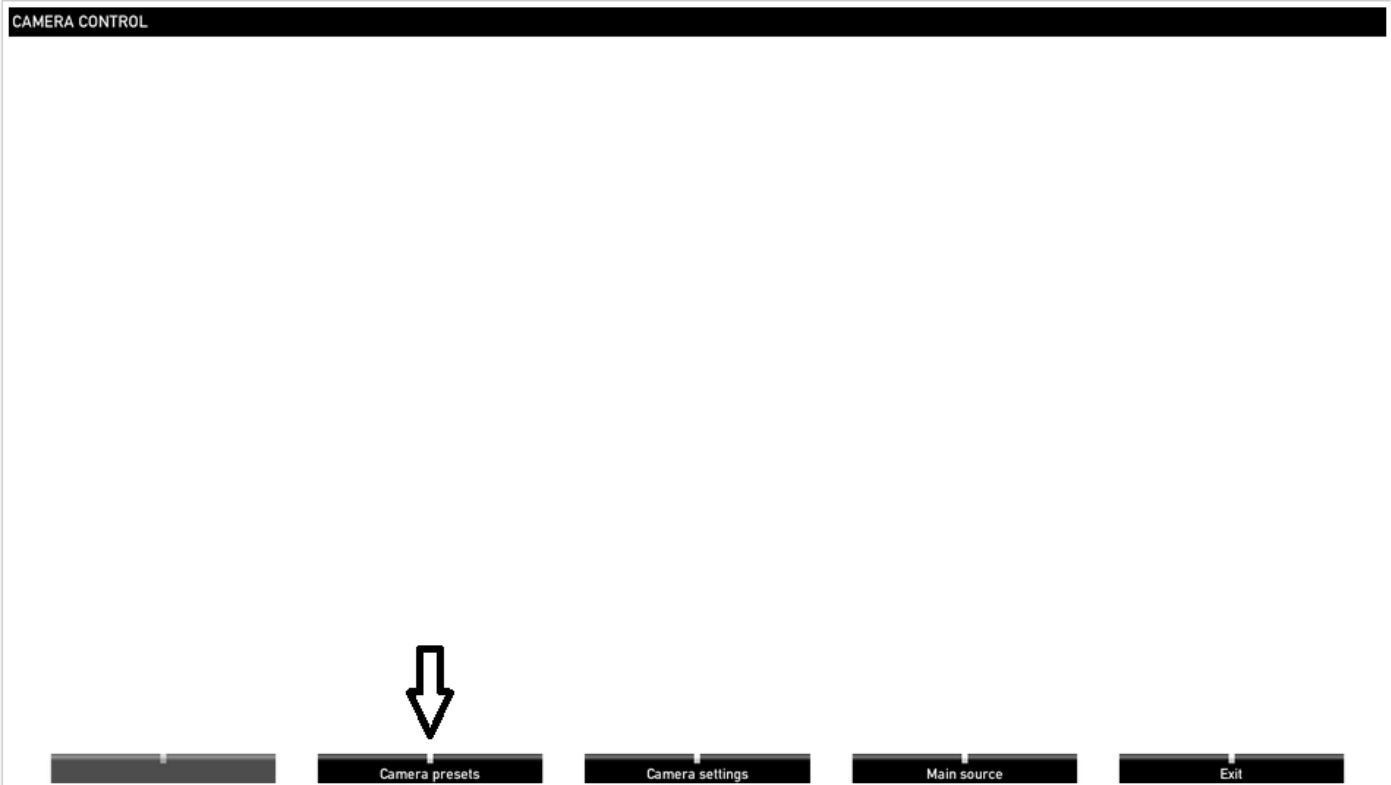
手持ち型遠隔制御装置とのオプション 1.セット プリセット

ステップは遠隔制御装置とのプリセットを設定するためにここにあります:

ステップ 1.遠隔の **Menu ボタン** をクリックして下さい。



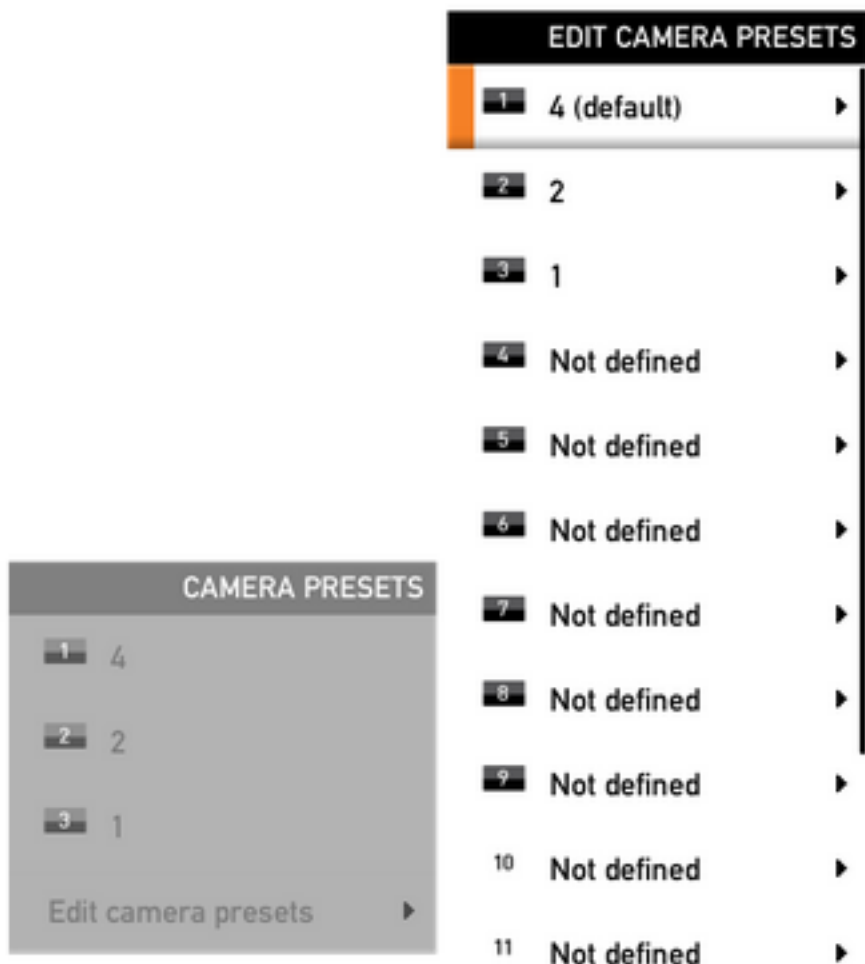
ステップ 2.前のイメージに見られるようにメニューから**カメラ制御**を選択して下さい。



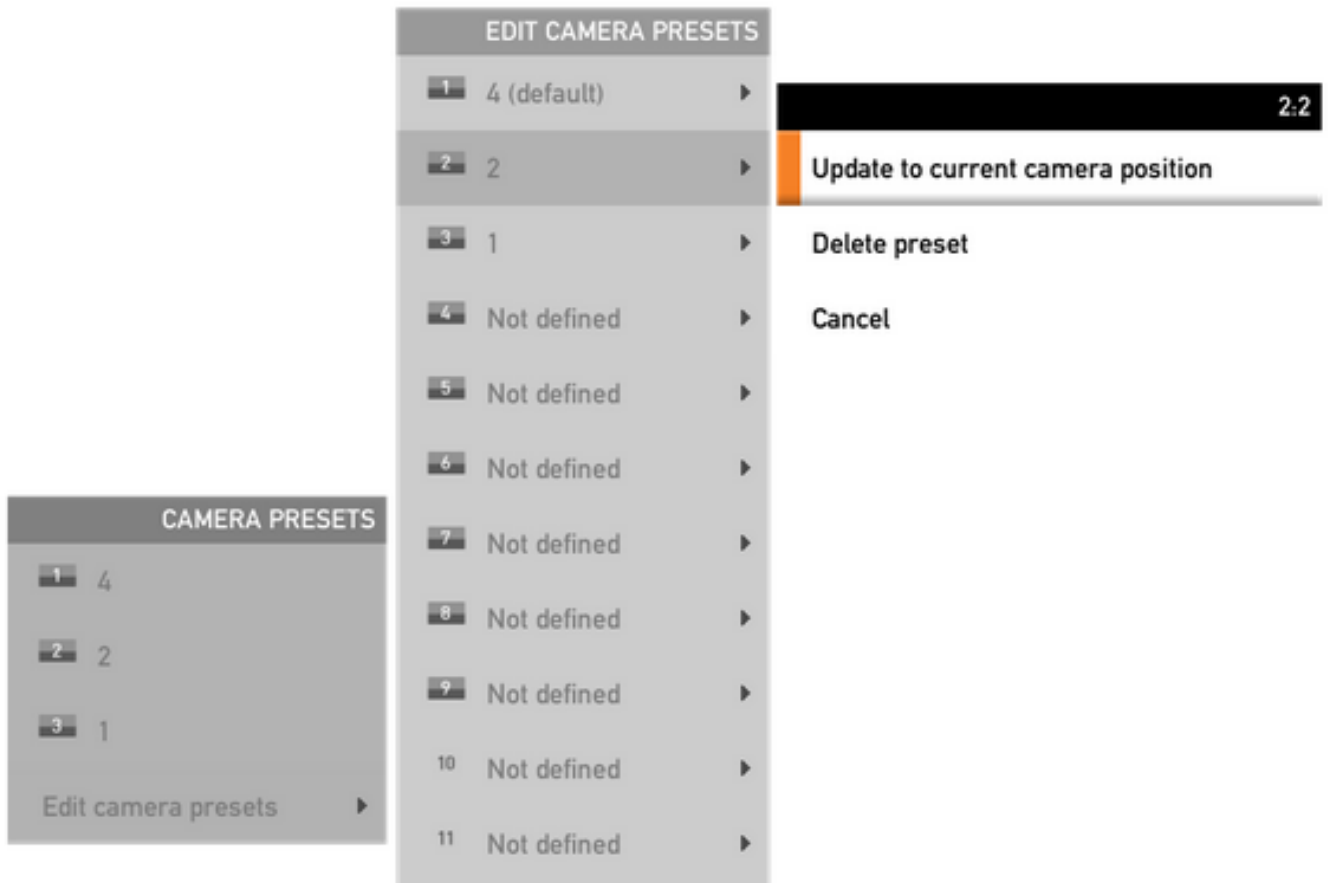
ステップ 3.カメラ/カメラを望ましい位置に移動し、次に遠隔とのオプションを（このオプションはディスプレイの下部で表示する）プリセットし、イメージに見られるように名前または数が付いているカメラ/カメラの位置を保存するためにカメラを選択して下さい。



ステップ 4 このに見られるようにイメージ異なるプリセットのいくつかのカメラ位置を保存することができます。



ステップ 5 /削除プリセットするこのイメージに見られるように前保存された値の選択によってリセットするためにまたできます。



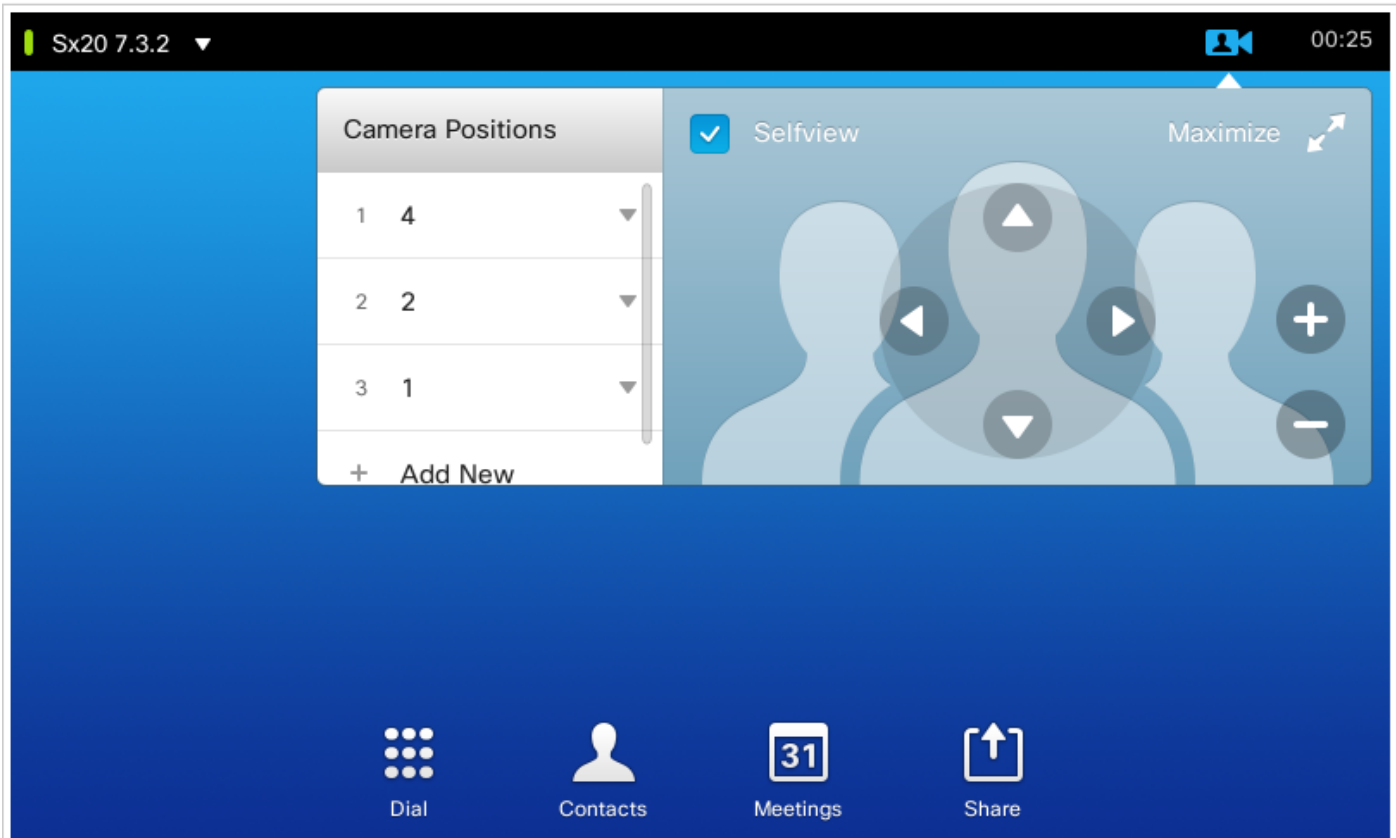
注: 複数のカメラが接続されている場合、プリセットは接続されているすべてのカメラの値を保存します。カメラプリセットするが再呼び出しされる場合、すべてのカメラは保存された位置に移動します。

これらのプリセットを再呼び出しすることは非常に簡単です、遠隔制御装置のプリセットするキーを使用し、先に保存される望ましいプリセットするを選択できますまたは同じカメラ制御オプションを単に使用し、次にプリセットする数か名前を選択して下さい。

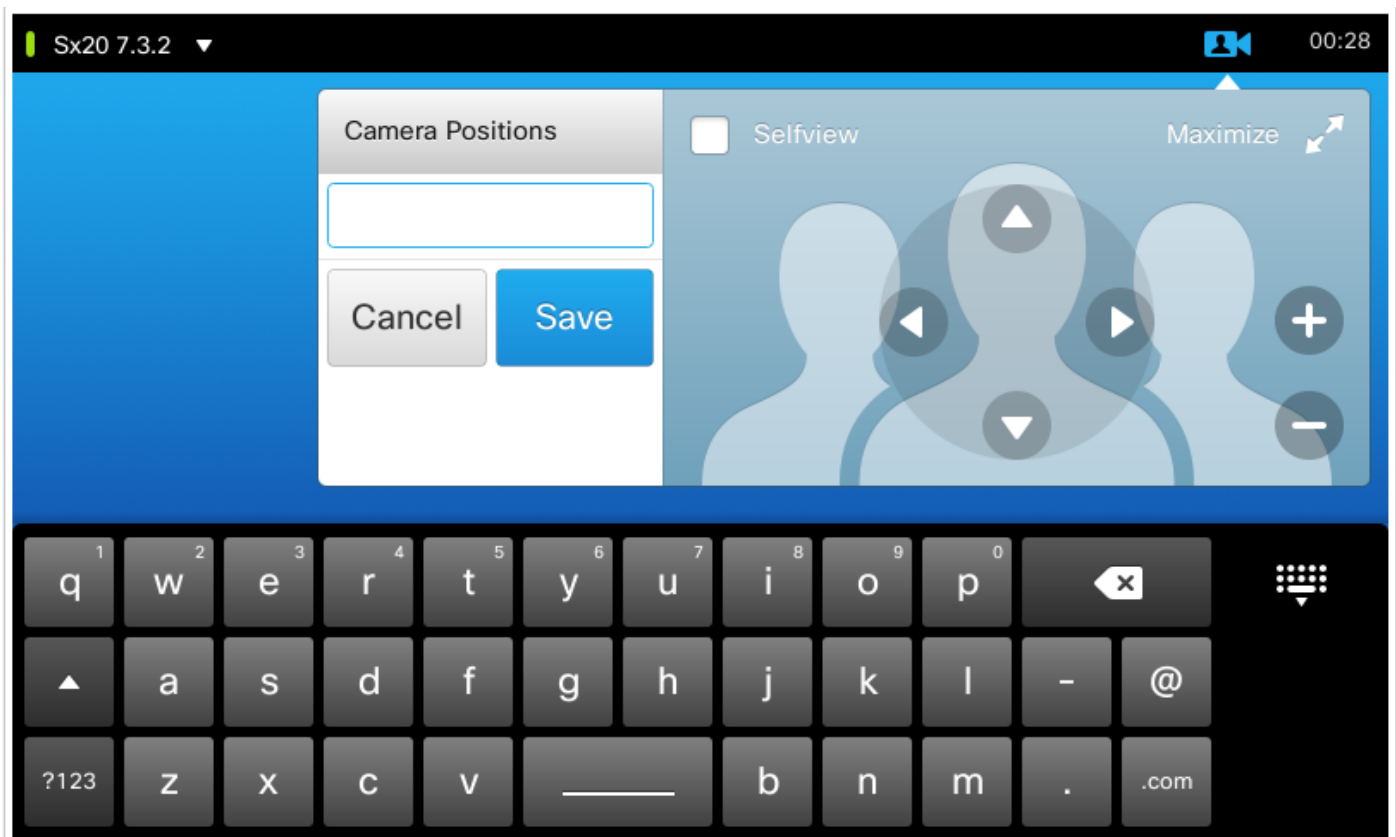
タッチパネルとのオプション 2.セットプリセット

タッチ 8

ステップ 1.時間がこのイメージに見られるようにどこにの隣で表示するかタッチ画面の右上側のカメラアイコンを、それです右クリックして下さい。



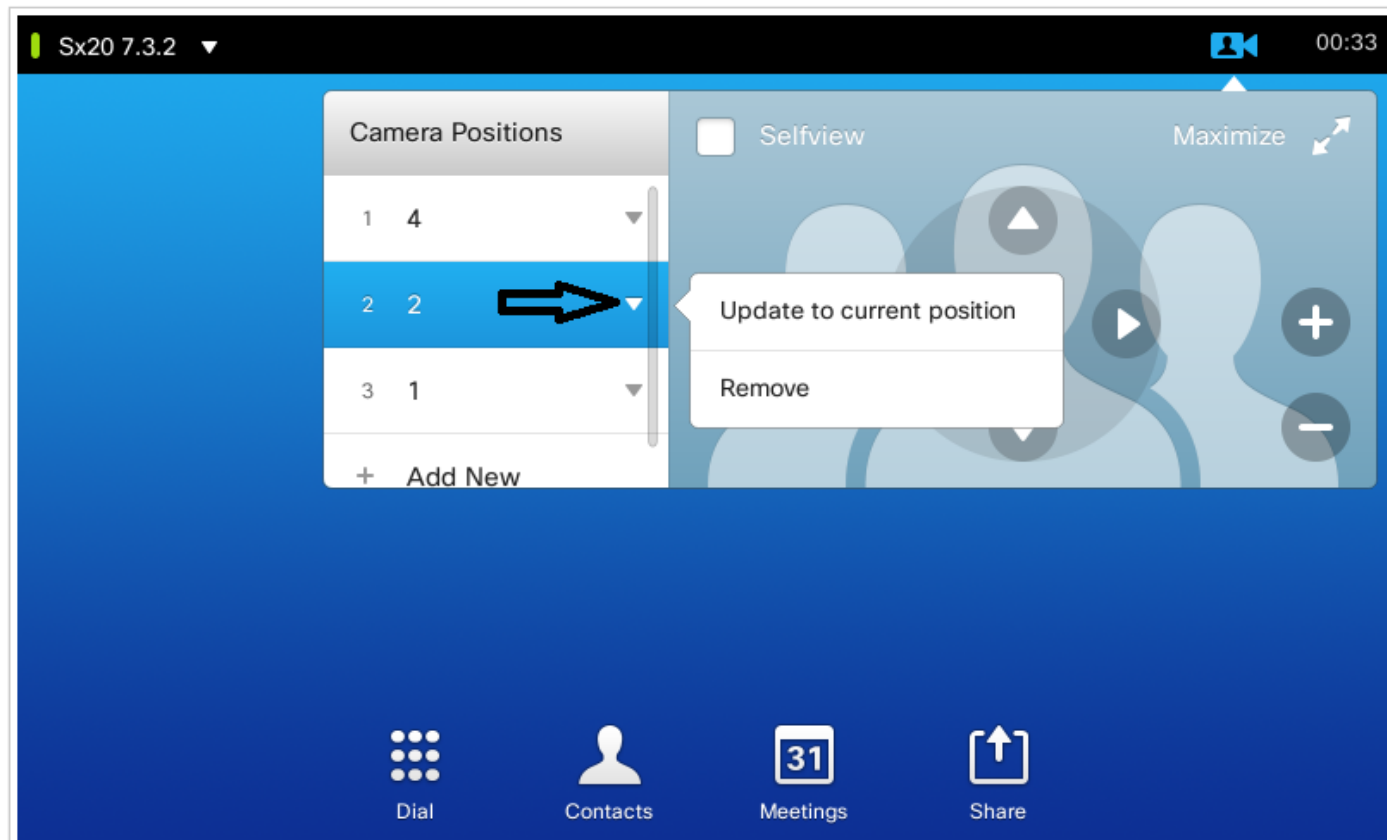
ステップ 2.カメラを矢印との望ましい位置に移動し、次にこのイメージに見られるように『Add New』 をクリックして下さい。



ステップ 3 : プリセットに値/名前を付けて保存します。

ステップ 4.プリセットを再呼び出しするために、前保存されたプリセットするを単にクリックして下さい。

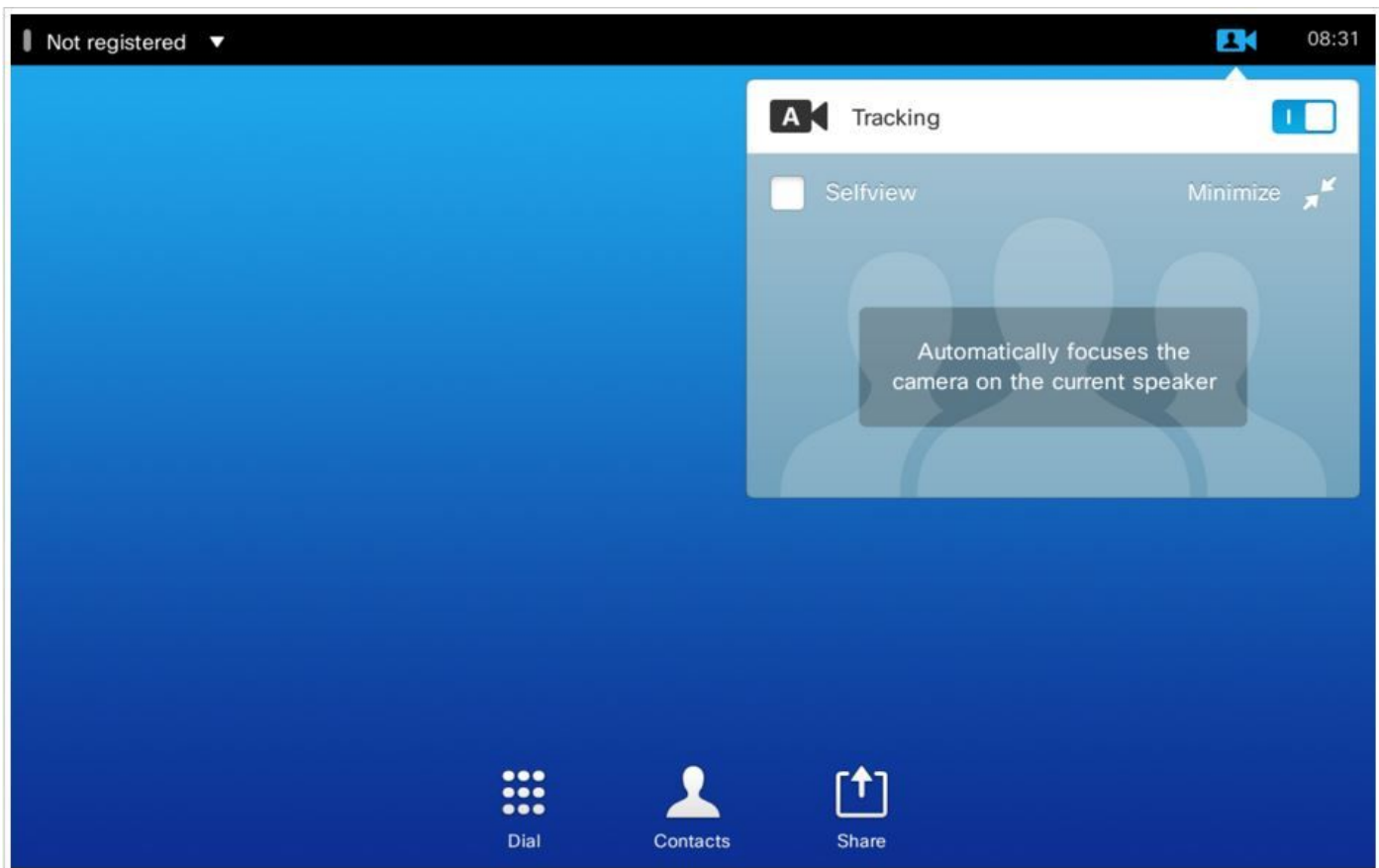
ステップ 5 /プリセットするを修正するために削除このイメージに見られるように設定値/名前の隣で下 矢印権限を押して下さい。



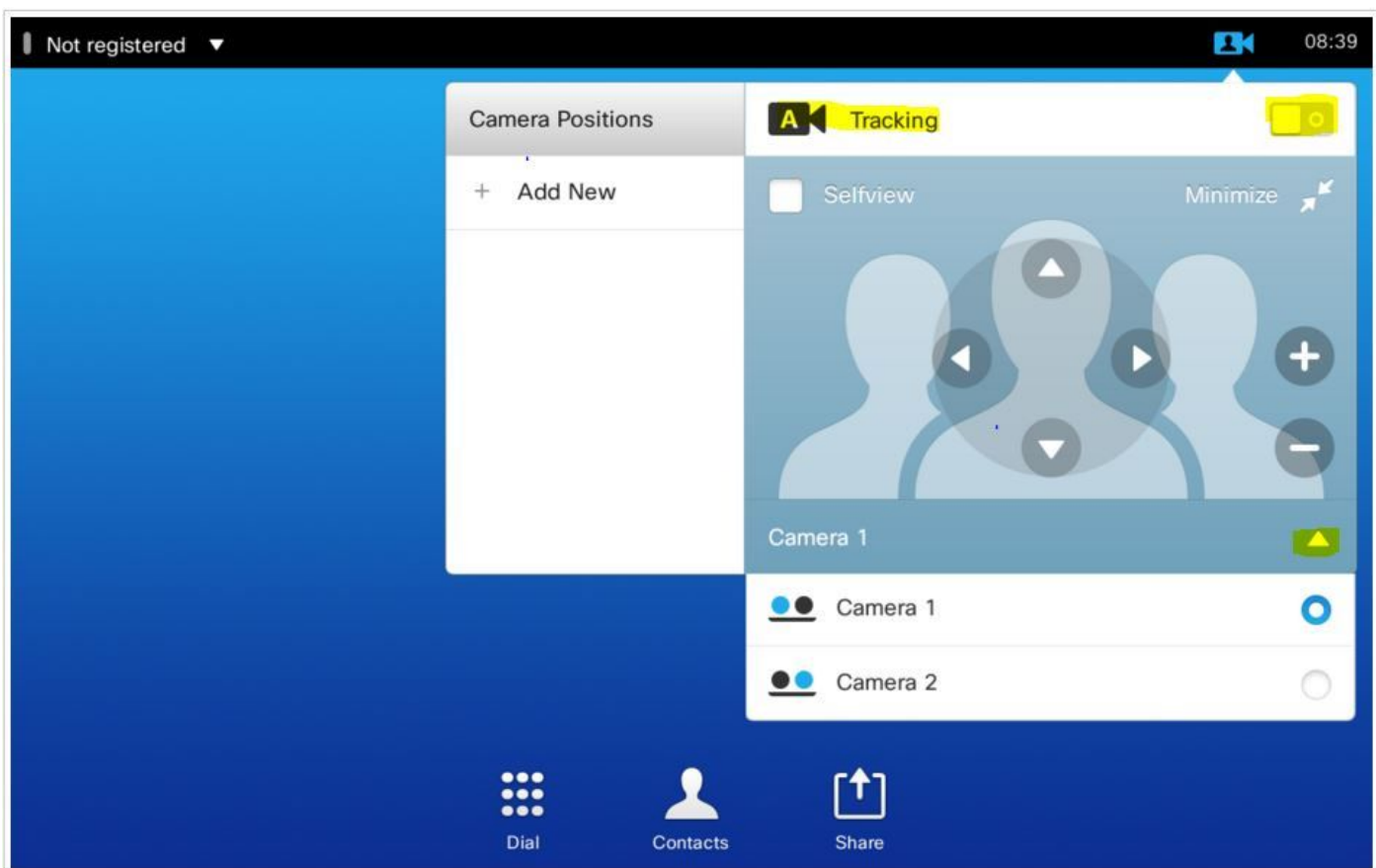
タッチ 10

このタイプのタッチ パネルは、通常スピーカトラックが接続されている SX80 に採用されています。そして、スピーカトラックはトラッキング アクティブ スピーカーのジョブをすると同時にプリセットを保存するオプションがありません。スピーカトラック カメラ (単一カメラとの MX プロファイル) のシステムでは、カメラ プリセットを保存するステップは先にと同じです。

ただし、スピーカトラック接続があるところで、タッチ パネルの右上側で見られる場合があるカメラトラッキング オプションがこのイメージに見られるように有効になると同時にカメラ位置を制御するか、または保存するオプションを見つけません。

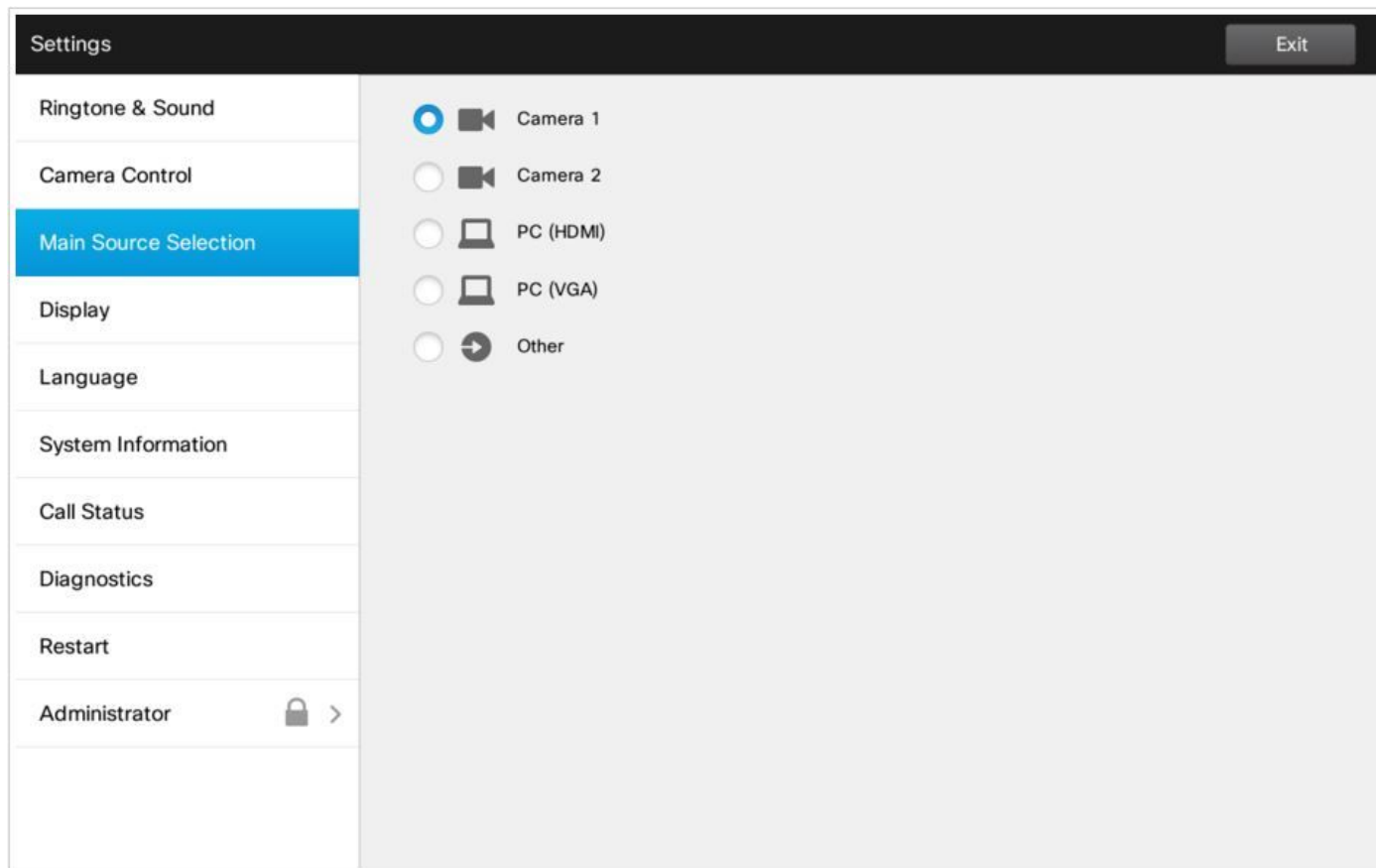


トラッキングを消せば、このイメージに見られるようにそれらをそれぞれ選択することによってカメラを一つずつ別々に移動するオプションを得ます。



そして次に、タッチ 8.のために説明されるように位置を保存することができます。

注: 両方のカメラの位置が 1つのプリセットとして保存されます。従って異なる場所を指すために両方のカメラをそれぞれ移動でき次にプリセットされる 1としてそれらを保存します。ただし、主要なビデオソース選択はまだこのイメージに見られるようにタッチパネルから手動でされなければなりません。



CLI コマンドを用いるオプション 3.セット プリセット

これらのコマンド/アクティブ化保存するために使用できたり/プリセットを取除きます。この情報は、すべてのソフトウェア/製品の API ガイドにも収録されています。

- **xCommand Camera PositionSet**

Position the camera by defining the pan, tilt, zoom and focus parameters. If the camera is placed in a daisy chain you need to know the CameraId for the camera you want to address.

Requires user role: USER

Parameters:

CameraId(r): <1..7>

Pan: <-65535..65535>

Tilt: <-65535..65535>

Zoom: <0..65535>

Focus: <0..65535>

Example:

xcommand Camera PositionSet CameraId: 1 pan:140 tilt: 140 zoom:4096 focus: 147

• xCommand Preset Store

すべてのビデオ入力ソースのコネクタの選択、およびすべてのカメラの現在の位置を保存します。

注: すべてのビデオ入力源についての情報およびすべてのカメラ位置は同じプリセットするに含まれています。システムは、15の事前定義されたビデオ入力のプリセットを保持できます。

これらのプリセットは遠端制御に利用できます、すなわち xCommandFarEndControl プリセットするアクティブ化コマンドの PresetId パラメータで参照されます。

対照的に、xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。これらのプリセットは相手先制御には使用できません。

PresetId: The ID of this preset.

Type: Currently it makes no difference if you select Camera or All. However, this may change in the future (other audio or video settings may be included in a preset). If you want to ensure that a preset only affects camera positions we recommend that you select Camera.

Description: Enter a description of the camera preset.

Requires user role: USER

Parameters:

PresetId(r): <1..15>

Type(r): <All/Camera>

Description: <S: 0, 255>

Example:

```
xCommand Preset Store PresetId:3 Type:Camera Description:"Left view"
```

• xCommand Preset Activate

保存されているローカルプリセットの1つをアクティブにします。

注: すべてのビデオ入力源についての情報、およびすべてのカメラの PTZF 値は同じプリセットするに含まれています。対照的に、xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。

PresetId: The ID of the preset you want to activate.

Requires user role: USER

Parameters:

PresetId(r): <1..15>

Example:

```
xCommand Preset Activate PresetId:3
```

• xCommand Preset Clear

プリセットを削除します。

注: すべてのビデオ入力源についての情報、およびすべてのカメラの PTZF 値は同じプリセットに含まれています。対照的に、xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。

```
PresetId: The ID of the preset you want to delete.  
Requires user role: USER  
Parameters:  
PresetId(r): <1..15>  
Example:  
xCommand Preset Clear PresetId:3
```

確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

プリセットはこれらのコマンドで確認することができます。

```
xstatus // preset  
*s Preset 1 Defined: True  
*s Preset 1 Description: "12345"  
*s Preset 1 Type: All  
*s Preset 2 Defined: True  
*s Preset 2 Description: "1"  
*s Preset 2 Type: All  
*s Preset 3 Defined: True  
*s Preset 3 Description: "ROOF"  
*s Preset 3 Type: All
```

トラブルシューティング

このセクションでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報を提供します。

カメラステータスをチェックするために、これらのコマンドを実行して下さい:

```
xstatus // camera  
*s Camera 1 Capabilities Options: "ptzf"  
*s Camera 1 Connected: True  
*s Camera 1 DownloadProgress: 0  
*s Camera 1 Flip: "Off"  
*s Camera 1 HardwareID: "51000003"  
*s Camera 1 IPAddress: ""  
*s Camera 1 MacAddress: "00:50:60:83:E4:CD"  
*s Camera 1 Manufacturer: "Cisco"  
*s Camera 1 Model: "PrecisionHD 1080p 4X"  
*s Camera 1 Position Focus: 4578  
*s Camera 1 Position Pan: 421  
*s Camera 1 Position Tilt: 121  
*s Camera 1 Position Zoom: 8  
*s Camera 1 SerialNumber: "XXXXXXXXXXXX"  
*s Camera 1 SoftwareID: "S01718-4.0FINAL [ID:40084] 2014-10-08"  
*s Camera 1 UpgradeStatus: None
```

カメラ接続ステータスが False の場合、ケーブルを確認する必要があります。

コーデックがプリセットを再呼び出しできたかどうか確認するためにコマンドを実行して下さい

。

log output on

OK

```
517171.07 CuilApp User __localtouchdevice__(1002) about to execute command '/Preset/Activate
PresetId: 1' from .
517174.39 CuilApp User __localtouchdevice__(1002) about to execute command '/Preset/Activate
PresetId: 3' from .
517177.77 CuilApp User __localtouchdevice__(1002) about to execute command '/Preset/Activate
PresetId: 2' from .
```

プリセットするを再呼び出しした後、コマンドを実行して下さい:

```
xstatus // camera
*s Camera 1 Capabilities Options: "ptzf"
*s Camera 1 Connected: True
*s Camera 1 DownloadProgress: 0
*s Camera 1 Flip: "Off"
*s Camera 1 HardwareID: "51000003"
*s Camera 1 IPAddress: ""
*s Camera 1 MacAddress: "00:50:60:83:E4:CD"
*s Camera 1 Manufacturer: "Cisco"
*s Camera 1 Model: "PrecisionHD 1080p 4X"
*s Camera 1 Position Focus: 4573
*s Camera 1 Position Pan: 400
*s Camera 1 Position Tilt: 60
*s Camera 1 Position Zoom: 0
*s Camera 1 SerialNumber: "XXXXXXXXXXXX"
*s Camera 1 SoftwareID: "S01718-4.0FINAL [ID:40084] 2014-10-08"
*s Camera 1 UpgradeStatus: None
```

カメラ位置が変更したことをこの場合、確認して下さい。